

久美浜学園保幼小中一貫教育だより

くみはまこういゅうかぶと山



久美浜学園保幼小中一貫教育

久美浜学園ホームページ：各学校園所の様子を掲載
「久美浜学園保幼小中一貫教育」で検索、スマホでも閲覧可能

久美浜学園事務局R4.6.9.No.1
(☎82-0079(久美浜中内))

第1回学校運営協議会5/12開催

第1回協議会を開催しました。委員の方の任期は2年で改選の年でしたが、2/3の方に再選していただきました。

本協議会の目的は、「学校・保護者・地域住民等が相互に密接に連携し、一体となって学校運営の改善及び地域の特色を生かした学校づくりを進め、乳幼児及び児童生徒の健全育成に取り組むこと。」です。学園、学校の応援団として協議をしていただきます。

第1回目は、協議会の会則を確認した後、協議会長、副協議会長の選出、学園、学校園所の基本方針の承認、各部会での意見交流をしていただきました。

全体協議

(協議会長開会あいさつ) コロナ禍の2～3年、本会が学園との密な連携、教育活動への応援団として機能することに制約があった。地域の活動も減少する中、見守り活動は継続的に進めていただいた。今年度は、コロナの状況を見ながら、教育活動への協力や先生方との距離感を縮め、本来の応援団としての学校運営協議会の活用の在り方や役割を広げていけるとよい。

(学園長あいさつ) 協議会は、学校・保護者・地域住民等が密接に連携し子どもの健全育成に取り組むことが目的。本日、園所学校の基本方針の承認を受ける。運営全般において意見をいただき運営に活かしていく。まさしく学校園所の「応援団」的存在となっていていただく。忌憚のない提言を出していただき支援・協力をお願いしたい。

(意見・質問)

○久美浜学園でヤングケアラーの問題はどうなっているか。☞十分把握できていないが、新聞報道であるような毎日家事をしたり寝る間もなかったりということはない。ただ、食事が十分でないとか出来合いのものを食べているなど子育てが十分できない家庭環境はあると思う。子どもが子どもとして活動できない家庭もあるのではないかと思っている。

○7年になるが多くの団体関わってきた。コロナで大人社会も変わり、やらない方がよいという風潮がまん延。今の子どもたちが学校、親、地域に対してどういうことをしてほしいのか、どう思っているのかなど、委員と子どもと話すということができないか役員会で検討してほしい。

地域活動部

- ・「チャレンジ教室」は昨年度10月から12月に10回程度活動。人気のかめつり大会も約30人で実施。営農組合と連携し10人のスタッフで開催。
- ・「二区子ども広場」は今週スタッフ会議。月1～2回できればと思う。他地域からも参加し、子どもたちもワクワクして活動できればと思う。3団体合同でできれば中学校入学時に顔見知りになる。
- ・今年度の公民館活動は通常通り行う予定。できることはしていきたい。
- ・コロナを気にして学校に行きにくい子、会ってもしゃべらない、黙って食べるなど規制が多いので地域の活動で元気にしてやりたい。

安心安全部

- ・右側通行の徹底ができていない。命を守るため指導の徹底が望まれる。
- ・歩道のない通学路を要望し続けやっと歩道の工事が決まった。危ないところは改善してもらえ。緑色の線も実現した。
- ・夏の酷暑の時スクールバス対応をお願いしたい。
- ・不登校のことが気になる。現実はどうなっているか。家庭訪問や電話で毎日連絡を取っている。
- ・あいさつをしても返事が返ってこない寂しいが、大人が積極的に声をかけ続けることが大事。
- ・コロナで、子どもが手洗いうがいをしっかりしている。子どもから教わることも多々ある。



学園評価部

- ・公民館活動もしているが、コロナのため何もかもやめになり残念。少年野球に関わっている。今は、子どもの夢も膨らみ甲子園を目指している。
- ・行事の実施が難しい中、何とかやってもらいたい。英語のタブレットを子どもと一緒に使ってみたりしている。課題提出をタブレットを使い夜中までしている。
- ・できることをしようと祭りをして餅まきをした。感染予防の工夫もした。コロナが出たらだれが責任をもつのかという意見もあったが、大人社会の責任で実施。
- ・こども園の保護者会の活動を広げるため保護者通信を出したい。



(副協議会長閉会あいさつ) 副協議会長として3年目。久美浜学園の大切さとか、学校と地域のつながりがいかに大切かということがわかってきた。各地域でもコロナ禍の中、活動を再構築していきたい。



小学校運動会を開催 (5/21かぶと山小・久美浜小、5/28高龍小)



各チームの決意を発表(選手宣誓)



チームでまとまり台風の目(児童会種目)



うまくバトンをつないで全力疾走(低中高学年リレー)

(かぶと山小学校) 全員が参加し、最後まで全力を尽くし、「友達を思い、チームを思い、あきらめずに最後までがんばりぬくことの大切さ」を感じることができ、心に残る運動会になりました。



なわとびとリレーが一緒になった新種目の大縄リレー(児童会種目)



うまくハードルを跳び(高学年障害走)



輪のバトンを渡して(低学年リレー)

(久美浜小学校) 児童会スローガン「一致団結一生懸命笑顔で楽しくやりきろう」のもと、6年生がリーダーとなりながら頑張っており組みました。当日は好天の中、生き生きとした子どもたちの姿が見えました。



整然としたすばらしい開会式でした。



高学年徒競走は、なんと直線ではなくセパレーートのトラックを疾走



児童会種目は、新開発で「大玉リレー」

(高龍小学校) 3年ぶりにできた運動会、保護者の参観もあり、きちんとした開会式もできました。「集団の中で適切に行動できる力」や「学年を超えて協力し合える関係」を育てることができました。